

第九十回帝國議會
衆議院

食糧緊急措置令(承諾を求める件)委員會會議錄(速記)第十二回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
農林中央金庫法の一部を改正する法
律案(政府提出、貴族院送付)

昭和二十二年八月二十六日(月曜日)午
前十四時四十七分開議

出席委員

委員長 成島 勇君

委員 坂本 實君 理事馬越 晃君

理事 松岡 運君 理事細野三千雄君

廣川 弘禪君 本多 花子君

入重 櫻利康君 吉澤仁太郎君

堀川 恭平君 細田 綱吉君

平野市太郎君 田中 健吉君

叶 凸君 米倉 龍也君

北 政清君 小坂善太郎君

山木 武夫君

高倉 輝君

出席政府委員

農林次官 楠見 義男君

農林事務官 石川 準吉君

本日ノ會議ニ付シタ議案

農林中央金庫法の一部を改正する法
律案(政府提出、貴族院送付)

○成島委員長 開會致シマス、是ヨリ
質疑ニ入りマス、苦米地義三君

○苦米地(義)委員 時間ヲ節約スル爲
ニ簡便ニ質問申上ゲタイト思ヒマスカ

ラ、ドウカ政府委員カモ簡潔ニ御答
ヘ願ヒタイト思ヒマス

第一ニハ、此ノ間農林大臣ガ説明致
サレマシタ本案改正ノ要點四項、私ノ

質問致シタイノハ其ノ中ノ一項、即チ
第十五條ノ改正ニ付テアリマス、其

ノ第十五條ノ四項ハ、第五條第一項ニ

掲グル團體ノ發達ヲ圖ル爲必要ナル施

設ヲ行フ法人ニ對シ主務大臣ノ認可ヲ

受ケ短期貸付ヲ爲スコトトアルガ

〔委員長退席馬越委員長代理著席〕

此ノ必要ナル施設ヲ行フ法人ノ其ノ範

圍ヲ何ヒタイト思ヒマス、ソレカラ第

五號ノ「食糧團體」其ノ他農林水産業ニ

關スル事業ヲ營ム法人、此ノ事業ト云

フモノノ範圍ヲ何ヒタイト思ヒマス、

ソレカラ短期貸付デアリマスガ、此ノ

短期ト云フ意味ヲ何ヒタイト思フ、即

チ此ノ兩方ノ最大範圍ヲ具體的ニ出來

ルナラバ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石川政府委員 御答ヘ申上ゲマス、

第一番目ノ第十五條第四號ノ法人ノ範

圍デゴザイマスガ、是ハ色々ゴザイマ

シテ、例ヲ以テ申上ゲルト、例ヘバ農

業團體デアルトカ、或ハ水産業團體デ

アルトカ云フヤウナ各團體ノ綜合ノ利

益代表的ナヤウナモノガゴザイマス

ガ、ア、云フモノガ色々側面的ニ事業

ノ發展ヲヤツテ居ルト云フヤウナ場合

ノ施設ヲ指スノデアリマシテ、具體的

ニ是レト是レト云フヤウナコトヲ今御

説明ハ出來マセマスガ、要スルニ各

種團體ノ行フ側面的ナ援助ノ施設ヲ申

シテ居ルノデアリマス、ソレカラ二番

目ノ農林水産業ニ關スル事業者ノ範

圍、是ハ肥料デアリマス、或ハ水

産業デアリマス、或ハ蠶絲業デア

リマス、要スルニ農林水産業行政ニ

關係シマス所ノ各種ノ事業ヲ營ンデ居

リマス法人ノ總稱デゴザイマス、第三

番目ノ短期ノ問題デゴザイマスガ、是

ハ普通金融機關ニ於テ行ツテ居リマス

所ノ、一箇月貸付トカ三箇月貸付トカ

ヤウナ、「コール」式ノ短期ノ貸付ヲ解

シテ居ルノデアリマス

○苦米地(義)委員 今ノ御話デハ一寸

抽象的デ、私ノ希望スルノハ、斯ウ云

フ風ニ書イテアルケレドモ、其ノ範圍

ノ一番最大限ノ實例ヲ何ヒタイト思フ

タノデス、短期ト申シマシテモ、二箇

月モ短期デアルシ、六箇月モ短期、從

來ヤツタモノノ最大限ガ幾ラカ、斯ウ

云フコトヲ何ヒタイノデアリマス、カ

ラ、此ノ點ヲモウ一遍御説明ヲ願ヒタ

イト思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ大

體此處ニ書イテアリマスル六項目デ盡

キテ居ルト思フノハ、新シク此處ヘ十

五箇年以内ノ貸付ヲアル、斯ウ云フコ

トニナツテ居リマスガ、此ノ點ハ第四

號、第五號ノ短期貸付ヲ十箇年以内ト

直シテシマヘバ、ソレデモ宜ササウニ

思ヒマスガ、特ニ此ノ一項ヲ獨立サセ

タ意味ハ何カアリマス、ドウカ、御

説明ヲ何ヒタイト思ヒマス

○石川政府委員 今マデ農林中央金庫

ニ於キマシテ短期貸付ヲ致シマシタ限

度ハ、大體一箇年以内ト云フコトニナ

ツテ居リマス、ソレカラ更ニ一項ヲ設

ケマシタ理由ハ、ヤハリ餘裕金運用デ

ゴザイマスノデ、之ヲ全額或ル程度ノ

長期ニ振替ヘテシマフト云フコトハ非

常ニ不便ナノデゴザイマス、隨テ物ニ

依リマシテハヤハリ依然トシテ、短期

ノ餘裕金ノ運用ト云フ制度モ置カナケ

レバナリマセマスガ、又併セマシテ最近

ノ經濟情勢ニ鑑ミマシテ、例ヘバ開拓

資金デアリマス、或ハ肥料ノ設備

資金デアリマス、或ハ肥料ノ設備

資金デアリマス、或ハ肥料ノ設備

資金デアリマス、或ハ肥料ノ設備

資金デアリマス、或ハ肥料ノ設備

資金デアリマス、或ハ肥料ノ設備

資金デアリマス、或ハ肥料ノ設備

資金デアリマス、或ハ肥料ノ設備

資金デアリマス、或ハ肥料ノ設備

資金デアリマス、或ハ肥料ノ設備

資金デアリマス、或ハ肥料ノ設備

ハ特殊銀行ニ於キマシテハ金融緊急措

置ト前後致シマシテ、非常ナ資金ノ逼

迫ヲ感ジテ居ル譯デアリマス、併シナ

ガラ事業界ニ於キマシテハ、戰災復興

デアリマス、或ハ最近ノ民需産業

ノ爲メノ資金デアリマス、中央金庫ニ

於キマシテハ相當大ナ資金ヲ擁シテ

居リマス、此ノ際、從來ハ或ハ興業

銀行、或ハ勸業銀行ヲ通サレマシタ分

ニ付キマシテモ、中央金庫ノ餘剰金ヲ

供給致シマシテ、協力シテ行キタイト

云フ考ヘ方デゴザイマス、此ノ點

ニ付キマシテハ大體省ト十分ナ打合せ

ヲ遂ゲテ居ルノデアリマス、隨ヒマ

シテ、他ノ銀行ガ貸出スノコトハナク

テ邪礙ヲスルト云フヤウナコトハナク

テ、寧ロ其ノ補助ノ使命ヲ中金ガ果シ

テ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル

ノデアリマス

○苦米地(義)委員 其ノ點ニ對シマシ

テハ後程一寸觸レタイト思ヒマス、此

ノ「パランス」シートヲ見マス、有

價證券ノ所有ガ全國デ二百五十億圓位

ニナツテ居リマス、今回ノ補償打切り

其ノ他財界ノ變動ニ依リマシテ、相當

ノ影響ガアルノデヤナイカト思フノデ

スガ、殊ニ外國證券ヲ持ツテ居リマス

ヤウデアリマスガ、其ノ點ニ對スル御

意見ハ如何デアリマスカ

○石川政府委員 今回ノ補償打切りニ

ヒタイト思ヒマス

九五

九五

九五

九五

九五

關聯シマス金融機關ノ應急措置ニ依リ
マシテ、仰シヤルヤウニ相當變動ヲ受
ケタノデゴザイマスガ、幸ニ救シマシ
テ、農林中央金庫ニ於キマシテハ、國
債或ハ地方債ト云フヤウナ有價證券ガ
非常ニ多イデゴザイマシテ、金額デ
言ヒマシテモ約百三十億餘ノ有價證券
ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、是ハ全部
新勸定ノ方ニ移ルコトニナツテ居リマ
スノデ、其ノ影響ハ他ノ金融機關ニ比
ベマシテ非常ニ少イデハナイカト思
ヒマス、又一方外債ハ極メテ少デゴザ
イマシテ、尙ホ其ノ他ニ不良債券ト稱
スルモノモ若干デゴザイマスガ、併シナ
ガラ、只今申上ゲマシタ國債或ハ地方
債ニ比ベマスト、極メテ少デゴザイ
マス

○苦米地(義)委員 只今外國證券ガ極
メテ少デト云コトデスガ八億八千萬
圓アリマス、全體ノ經濟力ヲ言フテ決
シテ僅少デヤナイト私ハ思ヒマス、近
來國債ノ打切りト云フ問題ガゴザイマ
ス、中金デケデ持ツテ居リマスノガ百
二十億幾ラ、若シサウ云フ場合ニ立到
ツタナラバ、非常ニ大キナ關係ヲ農村
ニ及ボスト思フデアリマスガ、要ス
ルニ打切り問題ニ對スル農林當局ノ御
見解ハ如何デゴザイマスカ、伺ヒマス

○石川政府委員 只今外債價ガ僅少ト
申上ゲマシタノハ、先程申上ゲマシタ
國債或ハ地方債ニ比較シテ少イト申上
ゲタノデアリマシテ、其ノ點ハ訂正シ
テ置キマス、ソレカラ國債或ハ地方債
ノヤウナ有價證券ガ打切ラレタ場合ニ
於キマシテハ、中央金庫ハ殆ド致命
ノ痛手ヲ受ケルト思ヒマス、隨ヒマシ
テ、若シサウ云フコトニナリマスレ
バ、ソレニ相當シタ措置ヲシナケレバ

ナリマセヌガ、現狀ニ於キマシテハ、
近ク制定セラレデアラウ所ノ金融機
關整備再建法ノ内容ト説ミ合セマシ
テ、今後ノ措置ヲ決メテ行キタイ、斯
ウ考ヘテ居リマス

○苦米地(義)委員 今ノ此ノ輿論ハ相
當深刻ニ現ハレト思ヒマスガ、ソレ
等ニ對スル關係ハ、農民ヲ代表シテ十
分ニ御開陳ヲ願ヒタイト思ヒマス、第
十五條ハ剩餘金ヲ運用スル制限規定デ
アリマス、嚴重ナ制限ヲ規定シテ居ル
條項デアリマスガ、今回ノ改正ニ於キ
マシテハ、是ガ殆ド解除サレルヤウナ
狀況デアリマス、サウシテ此ノ運用ガ
慎重ヲ欠キマス、殆ド無制限ニ方々
ヘ伸ビテ行クノデハナイカト思フ、一
ト頃産業、經濟、農業團體ガ、段々ニ
自分ノ仕事ヲ擴張マシテ、遂ニハ保險
會社マデ手ヲ伸バシタト云フヤウナ實
例ガゴザイマスノデ、此ノ規定ヲ擴
マスト、例ヘバ肥料ノ原因ガ硫化鐵デ
アル、隨テ硫化鐵山ニ投資スル、或ハ
石灰ガ必要ダ石灰山ヘ投資スルト云
フヤウナコトデ、此ノ關係ノ性質ヲド
ノ程度ニ抑ヘテ行カト云フコトハ餘
程是ハ嚴重ニシナケレバナラヌ問題ダ
ト思フ、然ルニ此ノ十五條ハ、全般ノ
上カラ非常ニ剩餘金ノ運用ニ對シテ警
戒ノ制限條項ヲ附シテ居ル條文デア
リマシテ、之ニ今回ノ緩和條文ガ出來
マスカラ、是ノ運用ニ對シテハ非常ニ
慎重ヲ期セナケレバナラヌト思ヒマ
ス、隨ヒマシテ、政府デハ此ノ資金ノ
運用委員會ノヤウナモノヲ之ニ附屬サ
シテ、其ノ融資ニ對スル慎重ヲ期スル
ト云フヤウナ用意モ必要デアルカノヤ
ウニ考ヘルデアリマスガ、現在ノ政
府ノ御意見ハ如何デセウカ

○石川政府委員 十五條ノ二ノ運用ニ
付キマシテハ、仰シヤル通り、極メテ
是ハ慎重ヲ要スル問題デゴザイマスノ
デ、私ノ方ト致シマシテハ、之ニ前後
致シマシテ、例ヘバ預金部資金運用
委員會ト云フヤウナモノニ準ジマシ
テ、運用ノ基準ナリ、其ノ他内容ノ研
究ナリト云フコトヲ、委員會ニ掛ケテ
キツテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘ
テ居リマス

○苦米地(義)委員 左様ナ審議委員會
ヲ設置スルト云フコトハ、極メテ贊成
デアリマス、更ニ今御話ノ肥料工業等
ニ投資スル場合、是ハ一般ノ金融機關
トノ競爭ニナルコトハ當然デアラウト
思ヒマス、現在ノヤウニ一方ニ資金ガ
ナクテ、片方ニ餘ツテ居ルト云フ時ハ
無論問題ハナイデセウ、併シ兩方トモ
資金ガダブツイテ居ルト云フコトニナ
レバ、投資ノ裁量ガ自然ソコニ生
ジテ來ル、其ノ場合ニ、工業方面ノ融
資ハ各々ソレニ堪能ナ經驗ト技術トヲ
持ツタ人等ガ此ノ審査ニ當ツテ居ルノ
デアリマスガ、農業團體ノ方ニハ、農
業統制ニ對スル機構モゴザイマスシ、
又ソレニ堪能ナ人の要素モ缺ケテ居ル
ノデハナイカト思フデアリマスガ、
ソレ等ニ對シテハ、新タニサウ云フ機
構ヲ樹立スル考ヘデアリマセウカ、若
シサウ云フ機構ヲ樹立スルト云フヤウ
ナ爲ニ、經費ガ非常ニ澤山要ルト云フ
コトデアレバ、ヤハリ中金ノ經營、經
濟ノ關係ニモ影響スルト思フ、專門
ノ工業方面ノ投資デナイ限りハ、餘リ
サウ云フ費用ヲ費スノモ如何カト思ヒ
マスガ、此ノ點御伺ヒシタイト同時
ニ、今申上ゲルヤウニ、此ノ條項ハ非
常ニ組合員トシテハ大事ナ條項デアリ
マスガ、サウ云フ多方面ニ擴ガルト云
フコトハ、組合全體ノ危惧心ヲ増スノ

デハナイカト云フヤウナ感ジモアリマ
スノデ、ソレ等ニ對スル政府ノ御所
見ハ如何デゴザイマスカ

○石川政府委員 此ノ農林中央金庫以
外ノ金融機關ニ於キマシテ、資金ガ非
常ニダブツイテ來タ場合ニ競合スルト
云フ御話デゴザイマスガ、此ノ點ニ付
キマシテハ、先程申上ゲタヤウニ、我
我ノ考ヘテ居リマス今回ノ措置ハ、農
林中央金庫ガ所謂協力ヲ申上ゲル、斯
ウ云フ趣旨デゴザイマスノデ、外ノ方
ノ所謂專門銀行ガ、資金ガ潤澤ニアリ
マスレバ、ソチナノ方カラ十分融通シ
テ戴キマシテ、尙ホソレデ足リナイト
云フ部分ヲ手傳ハス、斯ウ云フヤウニ
考ヘテ居リマス、ソレカラモウ一ツ、
中央農林金庫ニ、例ヘバ興銀デアリマ
ストカ、或ハ興銀デアリマスカガ持ツ
テ居ル特別ノ專門組織ヲ作ル意思ハ持
ツテ居リマス、現在ニ於キマシテ
ハ、勸銀ナドト十分協力シテヤツテ居
リマスノデ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ
ハ、特別ノ組織ヲ設ケナクテモ宜イノ
デハナイカト考ヘテ居リマス

○苦米地(義)委員 只今御説明ノヤ
ウデアレバ至極結構ダト思ヒマスガ、
若シサウ云フコトデアレバ、現在ノ規
定ノ第六號ヲ適用シテ十分目的ヲ達ス
ルノデハナイカト思フデアリマス、
一見獨立シタ融資ヲシマス、ドウシ
テモソコニ競爭ノ弊ガ起リ、サウシテ
金融ノ行政ガ又同ジヤウニ二元化スル
ト云フヤウナ憂ヒガアルノデハナイカ
ト私ハ思フデアリマス、今色々問
題デ官廳側據主義ト云フ弊害ガアリマ
スガ、若シ此ノ埒ヲ超エマス、同ジ
ヤウニ金融ノ面デモ農林省、大藏省ノ
二元の行政ガソコニ起リマシテ、可
ナリ弊害ヲ起スノデハナイカト思フノ

デアリマスガ、其ノ點ニ對スル御考ヘ
ヲ伺ヒタイ

○石川政府委員 御答ヘ申上ゲマス、
第六號ニ於キマシテ或ル程度ノ運用ハ
出來ルト思ヒマスガ、併シナガラ最近
ノヤウニ非常ニ貸出シノ期間ヲ短縮シ
ナケレバナラヌコト、手續ノ簡素化ト
云フヤウナ問題、其ノ他ノ考慮致シマ
シテ、一々他ノ銀行ヲ通ジテ行クト云
フ點ニ付キマシテハ、多少ノ復雜ガア
ルト思ヒマス、隨ヒマシテ、今回中央
金庫カラ直接ニ必要ナル資金ヲ農林水
産業團體ニ融通ショウ、斯ウ云フ意圖
デゴザイマス、而シテ是ハ大藏省ト共
管デアリマシテ、常ニ表裏一體ヲ成シ
テ運用ヲ致シテ居リマスノデ、今御心
配ニナルヤウナ點ハナイノデハナイカ
ト考ヘテ居リマス

○苦米地(義)委員 一般金融機關ノ資
金ノ缺乏シテ居ルコトハ事實デアリマ
ス、確カニ其ノ點ハ中金ノ助力ガ非常
ニ效果ガ有リテ居ルト私モ認メマス、
近ク復興金融會社法案ガ出テ成立スル
ト思ヒマスガ、其ノ結果、此ノ復興金
融會社ガ全面的ニ産業ノ必要ナル方面
ニ資金ヲ出スト思フデアリマスガ、
其ノ活動ガ始マリマスレバ、今肥料ニ
投資シヨウト云フ此ノ改正案ハ、一應
引込ムノデアリマスガ、或ハヤハリ積
極的ニオヤリニナルノデアリマセウ
カ、其ノ點御伺ヒシタイ

○石川政府委員 復興金融會社法案ニ
付キマシテハ、マデ制定サレテ居リマ
スノデ、詳細ニ分ラヌノデゴザイマ
スガ、併シナガラ今マデ私等ノ承知シ
テ居リマス範圍ニ於キマシテハ、他ノ
金融機關ガ貸セナイ部分ヲ復興金融機
關ガヤル、斯ウ云フ風ニ承知シテ居ル
ノデゴザイマス、隨ヒマシテ、此ノ復

ナリ弊害ヲ起スノデハナイカト思フノ

○石川政府委員 只今外債價ガ僅少ト
申上ゲマシタノハ、先程申上ゲマシタ
國債或ハ地方債ニ比較シテ少イト申上
ゲタノデアリマシテ、其ノ點ハ訂正シ
テ置キマス、ソレカラ國債或ハ地方債
ノヤウナ有價證券ガ打切ラレタ場合ニ
於キマシテハ、中央金庫ハ殆ド致命
ノ痛手ヲ受ケルト思ヒマス、隨ヒマシ
テ、若シサウ云フコトニナリマスレ
バ、ソレニ相當シタ措置ヲシナケレバ

○石川政府委員 十五條ノ二ノ運用ニ
付キマシテハ、仰シヤル通り、極メテ
是ハ慎重ヲ要スル問題デゴザイマスノ
デ、私ノ方ト致シマシテハ、之ニ前後
致シマシテ、例ヘバ預金部資金運用
委員會ト云フヤウナモノニ準ジマシ
テ、運用ノ基準ナリ、其ノ他内容ノ研
究ナリト云フコトヲ、委員會ニ掛ケテ
キツテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘ
テ居リマス

○苦米地(義)委員 左様ナ審議委員會
ヲ設置スルト云フコトハ、極メテ贊成
デアリマス、更ニ今御話ノ肥料工業等
ニ投資スル場合、是ハ一般ノ金融機關
トノ競爭ニナルコトハ當然デアラウト
思ヒマス、現在ノヤウニ一方ニ資金ガ
ナクテ、片方ニ餘ツテ居ルト云フ時ハ
無論問題ハナイデセウ、併シ兩方トモ
資金ガダブツイテ居ルト云フコトニナ
レバ、投資ノ裁量ガ自然ソコニ生
ジテ來ル、其ノ場合ニ、工業方面ノ融
資ハ各々ソレニ堪能ナ經驗ト技術トヲ
持ツタ人等ガ此ノ審査ニ當ツテ居ルノ
デアリマスガ、農業團體ノ方ニハ、農
業統制ニ對スル機構モゴザイマスシ、
又ソレニ堪能ナ人の要素モ缺ケテ居ル
ノデハナイカト思フデアリマスガ、
ソレ等ニ對シテハ、新タニサウ云フ機
構ヲ樹立スル考ヘデアリマセウカ、若
シサウ云フ機構ヲ樹立スルト云フヤウ
ナ爲ニ、經費ガ非常ニ澤山要ルト云フ
コトデアレバ、ヤハリ中金ノ經營、經
濟ノ關係ニモ影響スルト思フ、專門
ノ工業方面ノ投資デナイ限りハ、餘リ
サウ云フ費用ヲ費スノモ如何カト思ヒ
マスガ、此ノ點御伺ヒシタイト同時
ニ、今申上ゲルヤウニ、此ノ條項ハ非
常ニ組合員トシテハ大事ナ條項デアリ
マスガ、サウ云フ多方面ニ擴ガルト云
フコトハ、組合全體ノ危惧心ヲ増スノ

○石川政府委員 此ノ農林中央金庫以
外ノ金融機關ニ於キマシテ、資金ガ非
常ニダブツイテ來タ場合ニ競合スルト
云フ御話デゴザイマスガ、此ノ點ニ付
キマシテハ、先程申上ゲタヤウニ、我
我ノ考ヘテ居リマス今回ノ措置ハ、農
林中央金庫ガ所謂協力ヲ申上ゲル、斯
ウ云フ趣旨デゴザイマスノデ、外ノ方
ノ所謂專門銀行ガ、資金ガ潤澤ニアリ
マスレバ、ソチナノ方カラ十分融通シ
テ戴キマシテ、尙ホソレデ足リナイト
云フ部分ヲ手傳ハス、斯ウ云フヤウニ
考ヘテ居リマス、ソレカラモウ一ツ、
中央農林金庫ニ、例ヘバ興銀デアリマ
ストカ、或ハ興銀デアリマスカガ持ツ
テ居ル特別ノ專門組織ヲ作ル意思ハ持
ツテ居リマス、現在ニ於キマシテ
ハ、勸銀ナドト十分協力シテヤツテ居
リマスノデ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ
ハ、特別ノ組織ヲ設ケナクテモ宜イノ
デハナイカト考ヘテ居リマス

○苦米地(義)委員 一般金融機關ノ資
金ノ缺乏シテ居ルコトハ事實デアリマ
ス、確カニ其ノ點ハ中金ノ助力ガ非常
ニ效果ガ有リテ居ルト私モ認メマス、
近ク復興金融會社法案ガ出テ成立スル
ト思ヒマスガ、其ノ結果、此ノ復興金
融會社ガ全面的ニ産業ノ必要ナル方面
ニ資金ヲ出スト思フデアリマスガ、
其ノ活動ガ始マリマスレバ、今肥料ニ
投資シヨウト云フ此ノ改正案ハ、一應
引込ムノデアリマスガ、或ハヤハリ積
極的ニオヤリニナルノデアリマセウ
カ、其ノ點御伺ヒシタイ

○石川政府委員 復興金融會社法案ニ
付キマシテハ、マデ制定サレテ居リマ
スノデ、詳細ニ分ラヌノデゴザイマ
スガ、併シナガラ今マデ私等ノ承知シ
テ居リマス範圍ニ於キマシテハ、他ノ
金融機關ガ貸セナイ部分ヲ復興金融機
關ガヤル、斯ウ云フ風ニ承知シテ居ル
ノデゴザイマス、隨ヒマシテ、此ノ復

與金融機關出來マシテモ、協力スル
範圍ニ於キマシテハ、中央金庫ハ依然
トシテ協力スル、斯ウ考ヘテ居リマス
○苦勞地(義)委員 他ノ金融機關ガ貸
シ得ナイ所ヲ、復與金融機關ガ之ヲ引
受ケルト云フコトデゴザイマセウガ、
其ノコトハ中央金庫ニ對シテモ同ジ意
味ニナラウト思ヒマス、ソコガ私ガ就
合ダト、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリ
マス、而モ擔保ヲ取ラズニ貸スト云フ
コトハ私ハナイト思フ、擔保力ト云フ
モノハ一回デナシニ、何回モ担保ノ擔
保ナリ、或ハ借入金ノ擔保ナリトシ
テ、現在各々擔保ヲ提供シテ居ル状態
デアリマスカラ、從來ノ系統ヲ以テヤ
ルナラバ、非常ニソコハ圓滑ニ行クト
思フノデアリマスアレドモ、全ク別ニ
農林中央金庫カラ融資スルト云フコト
ニナリマス、擔保ノ提供問題デモ可
ナリ「トラブル」ガアルノデヤナйка、
斯ウ思フノデアリマス、ソレ故ニ復興
金融會社ガ出來ルニ相違ナイノデアリ
マスカラ、出來マシタ場合ニ、其ノ調
整ヲ大藏省ト農林省トノ間ニ、十分ナ
打合セヲシテ置イテ戴カナケレバナラ
ズト思フ、是ハ融資ヲ受ケル方ノ側カ
ラ申シマシテモ、必ズ其ノ點デ苦シム
ト思フ、是ハ一種ノ希望事項デアリマ
スケレドモ、其ノ點御考ヘ置キテ願ヒ
タイト思フノデアリマス

テ不可能デアアル、ソレデ大藏省ニモ陳
情致シマシテ、考ヘテ貰ワテ居ルサウ
デアリマスガ、サウ云フモノコソ、農
林中央金庫ノ剩餘金ヲ活用スルノガ妥
當デハナイカト私ハ思フノデアリマス
ス、サウ云フ農業ニ非常ニ關係アル、
而モ細カイ方面、小サイ方面ノ農業加
工業ト云フヤウナ方面ニ積極的ニオヤ
リニナレバ、其ノ調査或ハ經驗、知識
モ關聯致シテ居リマスカラ、寧ろ其ノ
方ニ重點ヲ置イテ、純然タル工業ノ方
ハ復興金融會社ノ方ニ關ツテ行クト云
フコトニナレバ、却テ調和ガ取レテ旨
ク行クノデヤナйка、斯ウ思フノデア
リマス、尙ホ其ノ點ニ付テ大藏省ノ御
意見モ伺ヒタイト思ヒマスガ、大藏省
ノ方ガ御見エニナリマセウカラ、私ハ
農林省ノ方ニ對シテハ是デ質問ヲ打切
リマス

○石川政府委員 一寸今ノ點ニ付キマ
シテ御答ヘ申上ゲマス、農林中央金庫
ノ使命ハ、御承知ノヤウニ所屬團體ヲ
通ジマシテ、所屬團體ノ「メンバー」ノ
資金ガ主ナルモノデアリマシテ、只今
仰シヤイマシタヤウナ地方ノ農業團體
ノ仕入トカ、或ハ農林水産業ニ對スル
施設ニ付キマシテハ、相談ガゴザイマ
スレバ十分ニ御相談ニ乘リタイト思ッ
テ居リマス

○馬越委員長代理 八重樫利康君
○八重樫委員 私人御伺ヒセントスル
所ノ改正點ニ對スル質問ハ、同僚ノ苦
米地君ニ依ツテ盡キタヤウデアリマス
ルカラ、私ハ寧ろ其ノ根本ニ入ツテ、
農村ノ金融ハ農業經營ニ非常ニ關係ガ
アルト云フ點カラ、御伺ヒ致シタイト
思ヒマス、中央金庫ハ現在金融界ノ王
座ヲ占メテ居リマスガ、其ノ資金ハ
主ニ農村カラ、吸收ヲサレテ居リナガ
ラ、其ノ大部分ハ都市ニ放出サレテ居
ル傾向ガアルヤウデアリマス、此ノ農
村ノ金融ノ如何ト云フモノハ、直チニ
農村ノ振興ニ關係アルト云フコトハ、
今更申上ゲルバモモナインデアリマス
ルガ、此ノ金融バカリデナク、總テノ
點ニ於テ農村ハ今マデ採取ト束縛ノ對
象ニナツテ來タノデアリマス、此ノ點
ニ關シマシテハ、實ハ農林大臣ニ御伺
ヒシタイノデアリマスガ、御見エニナ
リマセウノデアリマス、即チ食糧ノ窮乏ニ陷
タイト思ヒマス、即チ食糧ノ窮乏ニ陷
テ一般ノ社會ノ水準以下ニ農村ガ置カ
レテ、而モ工業ニ對シテハ安價ナル勞
力ノ供給源トナリ、商業ニ對シテハ單
ナル利益ノ搾取對象トナツテ來テ、サ
ウシテソレヲ放任シテ顧ミラレナカッ
タノデアリマス、其ノ結果ト致シマシ
テ、有爲ノ農村ノ青年ハ農村ヲ離レテ
都會ニ集シ、農村ハ智能のニモ、經
濟的ニモ完全ニ轉落シテ來タノデアリ
マス、今ニシテ此ノ農村ノ實體ト遊離
シタ所ノ政策ヲ一擲シテ、農村ヲシテ
安シテ農業ニ精勵スル方策ノ樹立セ
ラザル限り、農村ハ依然トシテ桎梏
ノ中ニ苦シミ、生産ガ減退スルデアラ
ウト思フ次第デアリマス、其ノ點ニ
付キマシテ、細カイコトハ後廻ハント
致シマシテ、先ヅ此ノ場合ニ於キマシ
テ、政府ニ於キマシテハ、今マデ歷代
政府ノ執リ來ツタ所ノ惡政ト申シタイ
ノデアリマスガ、之ヲ一擲シテ、明朝
ニシテ堅實ナル農村ヲ建設スルト云フ
考ヘヲ持ツテ實ヒタイト思ヒマス、其
ノ點ニ關シマシテ、次官ハ如何ナル御
考ヘヲ以テ今後ノ農村ヲ指導シテ行ク
カト云フ點ヲ、先ヅ御伺ヒ致シタイノ
デアリマス

○補見政府委員 只今ノ御尋ネノ、今
後ノ農村經營ヲドウ云フ風ニ持ツテ行
クカ、又農村金融ト農業經營トノ關係
ヲドウ云フ風ニ持ツテ行クカト云フ問
題デアリマスガ、御承知ノヤウニ、終
戰後ノ建直リト致シマシテ、色々ノ面
ニ於テ政府ト致シマシテ、施設ヲ講
ジ、又施設ヲ樹立シテ居ルノデアリマ
スガ、農村ノ面ニ於キマシテモ眞ニ民
主的の、又從來ノ封建的ナ面モ出來ル
限リ之ヲ拂拭致シマシテ、直ニ民主的
ナ、又自主的ナ農村ヲ今後建設シテ行
カウト云フコトデ、土地問題ニ於テ
モ、其ノ他ノ問題ニ於キマシテモ、施設
ヲ考慮致シテ居リマス、コトハ御承知ノ
通りデアリマス、同時ニ今後ノ農業經營
ノ面ニ入ツテ行キマスルト、是モ只今
御述べベニナリマシタヤウニ、今後ノ農
村經營ト云フ點カラ言ヒマスレバ、
結局此ノ問題ハ、農業經營ヲ文化的
ニ、又合理的ニ、科學的ニヤツテ參ラ
ナケレバナラヌコトハ當然デアリマシ
テ、此ノ方向ニ今後進ンデ參ラナケレ
バナラヌコトハ申上ゲルバモモナイン
デアリマス、特ニ問題ニナツテ居リマ
スル農村金融ト農業經營ノ問題デアリ
マスガ、今日ノ農林中央金庫ノ系統
ハ、御承知ノヤウニ、綜合的金融機關
トシテ多年ノ歴史ヲ持チ、又當初ハ色
色苦シイ狀態ニアツタコトモ御承知ノ
通りデアリマス、幸ヒ多年ノ經驗ノ結
果、漸次力ガ付イテ參リマシテ、今日
ニ於キマシテハ、市中ノ大銀行ニ伍シ
テ何等遜色ナイ所マデ、綜合金融機關
トシテノ實力ガ具ハツテ參ツタノデア
リマス、先程色々問題ニナツテ居リ
マスルコトハ、結局此ノ力ノ付イタ農
林中央金庫ノ餘裕金ノ問題ガ、色々問
題ニナツタノデアリマスガ、本筋ハ飽

クマデモ綜合金融機關トシテノ使命達
成ニ邁進シナケレバナラヌコトハ、申
上ゲルバモモナインデアリマス、現在
ノ綜合金融機關トシテノ需要面ハ必ズ
シモ伸ビテ居リマセウ、併シハ農村
ニ於キマスル現在ノ金融事情、或ハ經
濟事情ガサウ云フ風ニナツテ居リマス
ル爲ニ、結局餘裕金ノ問題デ色々頭マ
スルマシテ居ルノデアリマス、併シ先程
來申上ゲルヤウナ農業ノ持ツテ行キ方
ト云フコトカラ考ヘテ參リマスルト、
結局本筋ノ綜合金融機關ノ使命ヲ完全
ニ果ス爲ニ、經營面ニ於キマシテ、又
生産面ニ於テ、加工面ニ於テ、農村ハ
今後經營ノ上ニ於キマシテモ多角的ニ
ナツテ參リマセウシ、又色々文化的ノ
施設ガ講ゼラレコトト思フルデアリ
マスガ、斯ウ云フ面ニ對シテ農村金融
ハ大キナ裏打トシテ役立ツモノト存ジ
マスルシ、又私共モ其ノ方向ニ農村金
融ト云フモノヲ持ツテ參ルコト云フコト
ニ努メテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル
次第デアリマス

○八重樫委員 次ニ御伺ヒシタイコト
ハ、政府ハ農村カラ餘裕金ヲ吸收シ過
ギルノデアリナйкаト云フコトデアリマ
ス、其ノ結果、農村デハ零細ナル所ノ餘
裕金ガ色々名目ノ下ニ吸收サレマシ
テ、農家ニハ住宅ノ改善ノ考慮モナク、
農具ノ整備スラナク、鐵一挺、鎌一挺
ノ農家ガ多イノハ、日本農業ノ缺陷ト
サレテ居ル次第デアリマス、農業ト云
フモノハ如何ナル形ニ組織サレマシテ
モ、土地、資本、勞力ノ三要素以外ニ
ハ一步モ出ナイト私ハ信ズルノデアリ
マスルガ、然ルニ土地ニ關スル問題ハ、
早晚土地制度ノ改革ニ依ツテ幾分ハ改
革サレラウト思ヒマスガ、資本ノ
問題ニ關シマシテハ、意外ニ農業指導

者、政府も關心ヲ持ツテ居ラナキ、サウシテ色々名目ノ下ニ、集マツタ資金ト云フモノハ中央ニ集マツテ、所謂中央集權ノ弊害ト云フモノヲ現ハシテ居ル、現在戰災ノ多イノモ中央集權ノ弊害アリマス、大分農村ノ金ヲ使ツテ施設シタモノガ破壊サレテ居ル、又電氣ノ混雜等モ、中央集權ノ弊害ヲ遺憾ナク露呈シテ居ル、是ハ速カニ農村ニ施設ヲ分散シテ、田園都市ノ形ニ於テ農村ト云フモノヲ作ツテ行カナケレバナラヌ、其ノ爲ニハ農村カラ餘リ資金ヲ吸收シナイデ、農村ノ色々ノ施設ニ向ケテ、何モ是ハ中央金庫ヲ通サナケレバナラヌト云フコトハナイ、農家ガ個々ノ經營ニ於テ、餘裕金ヲ持ツテ自家經營ニ資スルト云フコトガ必要デヤナイカト云フコトヲ考ヘテ居リマスルガ、此ノ點ニ關スル御考ヘヲ率直ニ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○補見政府委員 餘裕金ノ吸收ノ問題デアリマスガ、本筋ハ仰セノ如ク、出來ル限リ農村ニ之ヲ還元スルト申シ●スカ、是ハ本來相互金融ノ趣前デアリマスカラ、然ルベキ譯デアリマスガ、唯從來ノ餘裕金ノ吸收ノ問題ハ、御承知ノヤウニ金融事情ナリ、又經濟事情ガ随分變轉シテ、變ツテ參シタノデアリマスガ、同時ニ地方のニ、是ハ何ト申シマスカ、色々サウ云フ方面ニ付テハ知識ナリ、經驗ナリト云フモノハ、中央ノ者ト比ベマシテ必ズシモ十分デナイ、隨テ農村ノ内部ニ還流致シマス場合ハ、是ハ問題ハナイノデアリマスガ、併シ農村外ニ此ノ資金ガ流レ出ル場合ニ、色々其ノ點ニ於テ憂慮セラレルヤウナ事態ガアツタノデアリマス、昔ノ信用組合ガ、一般ノ金融恐慌ニ際シテ色々立直リニクイ困難ニ逢著シタ

ノモ、サウ云フ事例ニ依ツタモノモアルノデアリマス、隨テ農村外ニ流レ出マシ場合ニハ、之ヲ出來ルダケ中央ニ於テ、諸般ノ事情ヲ能ク擷シ、ソレニ基テ融資ヲシテ行ク、サウシテ組合金融トシテノ基礎ヲ固メ、又不測ノ損害ヲ生ジナイヤウニト云フコトデ、隨分中央デモ苦勞ヲシ、又地方のナ組合金融ニ對シマスル色々難點デアリマス、指導機關デアリマス、或ハ相談ニ乘ル機關トカ、色々ナモノヲ地方のニモ作りマシテ、其ノ間餘裕金ハ運用ニ於テ過チノナイヤウニ期シテ參シタノデアリマス、サウ云フ意味カラ、餘裕金ハ戰時中ハ出來ルダケ中央ニ吸收スル方針ヲ執ツテ參リマシタ、併シ本筋トシマシテハ、農村ノ内部ニ還流スルト云フ場合ニハ、必ズシモ中央ニ總テガ總テ之ヲ吸收スルト云フヤウナコトハ、考慮シテ宜イ問題デアラウト云フ風ニ、私共モ實ハ考ヘテ居リマス

○八重樫委員 之ニ關聯致シマシテ、婦人ノ解放問題ト住宅ノ問題ヲ一言御尋ネシテ置キマス、婦人ノ解放問題ガ相當論議サレテ居リマスルケレドモ、特ニ農村ノ婦人ハ、如何ニ農業ガ集約サレテ機械化サレ、或ハ電動機ガ全面のニ農村ニ入りマシテモ、實際ノ農業労働カラ農村婦人ヲ解放スル時期ト云フモノハ、恐ラク近イ將來ニハナイト思ヒマス、是ハ已ムヲ得ザルコトト致シマシテモ、家庭ノ内部ニ於ケル不生產的ナ作業ト申シマセウカ、家事労働ニ引廻ハサレル婦人ノ労働ト云フモノハ非常ニ過重デアリマス、私ノ或ル計算ニ依リマスルト、家庭内ノ労働デ、農家ノ婦人ガ歩イタ哩數ヲ調べタ所ガ、七里半歩イタト云フ例モアツタノ

デアリマス、斯ウ云フ點ヲ考ヘマスル時ニ於キマシテ、婦人ノ解放ノ前提ト致シマシテハ、ドウシテモ婦人ノ知識ノ昂揚ヲ圖ラナケレバナラヌノデアリマスルガ、農村ノ婦人ハ新聞ヲ見ルハオロカ、ラヂオヲ聴クハオロカ、朝カラ晩マデ家事労働ニ引廻ハサレテ居ルト云フ點ニ付キマシテ、ドウシテモ住宅ノ改善、其ノ他ノ共同施設ニ依ツテ、農村ニ時間的ノ餘力ヲ與ヘ、サウシテ農村ノ知識ノ昂揚ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ考ヘヲ持ツテ居リマスルガ、此ノ中央金庫等ノ融通ニ依リマシテ、住宅改善其ノ他農村ノ共同施設ニ對シテ、政府ニ於テ御考ヘガアルト致シマスレバ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○補見政府委員 御尋ネノ點ニ付キマシテハ、私共モ其ノ必要ヲ十分認メテ居リマスルシ、サウ云フヤウナ資金需要ニ對シマシテハ、融通ノ途モ開キタイト考ヘテ居リマス、特ニ御承知ノヤウニ、婦人ノ負擔ヲ出來ル限リ輕クスルト云フ問題、並ニ住宅ノ改善ノ問題ニ付キマシテハ、特ニ前者ノ婦人ノ問題ニ付キマシテハ、或ハ共同炊事トカ、或ハ共同託児所トカ、農業期ニ於キマスル色々ノ施設ヲ從來モ講ジテ參シタノデアリマスルガ、此ノ方面更ニ一層努力シテ參リタイと思ヒマス、其次ニ又住宅ノ問題ニ付キマシテモ、實ハ此ノ問題ハ特ニ東北、北陸地方ニ於テ、改善ヲナスベキ餘地ガ極メテ多イヤウニ思フノデアリマス、ソレデ私共ノ方施設シテ居リマスル、新庄ノ積雪地方ノ經濟調査所ト云フ所ガゴザイマスガ、幸ヒナコトニ其ノ所長ガ、此ノ問題ニ付テハ身命ヲ打込デ改善ニ努力シタイト云フコトデ、折角

研究ヲ進メテ居ルヤウナ次第デアリマス、是等ノ調査施設ガ更ニ良キ成果ヲ生ミマシテ、全般的ニ此ノ住宅ノ改善ニ貢獻セラレルコトノ早カラランコトヲ、實ハ期待シテ居ルヤウナ次第デアリマス、附加ヘテ申上ゲマス

○成島委員 宜シウゴザイマス

○田中(健)委員 私ハ數項目ニ互ツテ質問致シタイと思ヒマス、第一ニ肥料會社ト金融ノ問題ニ付デアリマスガ、肥料ノ國營ニ付テハ農林大臣ガ屢々言明サレテ居リマスルガ、其ノ具體的ナ措置ヲドウ云フヤウニ考ヘテ居ルカト云フ點デアリマス、ソレカラ中央金庫ガ肥料會社ニ融資スルト云フノハ、肥料ヲ國營ニスル準備ノ爲デアルノカ、ソレトモ單ニ肥料資本家ヲ擁護スル爲デアルカ、ソレカラ國營ニスル爲ニハ、肥料會社ノ賠償資金トデモ言ヒマセウカ、サウ云フ資金ヲドレ位必要トスルカ

○補見政府委員 御尋ネノ點ニ付キマシテハ、私共モ其ノ必要ヲ十分認メテ居リマスルシ、サウ云フヤウナ資金需要ニ對シマシテハ、融通ノ途モ開キタイト考ヘテ居リマス、特ニ御承知ノヤウニ、婦人ノ負擔ヲ出來ル限リ輕クスルト云フ問題、並ニ住宅ノ改善ノ問題ニ付キマシテハ、特ニ前者ノ婦人ノ問題ニ付キマシテハ、或ハ共同炊事トカ、或ハ共同託児所トカ、農業期ニ於キマスル色々ノ施設ヲ從來モ講ジテ參シタノデアリマスルガ、此ノ方面更ニ一層努力シテ參リタイと思ヒマス、其次ニ又住宅ノ問題ニ付キマシテモ、實ハ此ノ問題ハ特ニ東北、北陸地方ニ於テ、改善ヲナスベキ餘地ガ極メテ多イヤウニ思フノデアリマス、ソレデ私共ノ方施設シテ居リマスル、新庄ノ積雪地方ノ經濟調査所ト云フ所ガゴザイマスガ、幸ヒナコトニ其ノ所長ガ、此ノ問題ニ付テハ身命ヲ打込デ改善ニ努力シタイト云フコトデ、折角

次ニ本會議ニ於テ我ガ黨ノ平野代議士ノ質問ニ對シテ、農林大臣ハ、經濟安定本部ガ出來レバ、肥料國營ノ準備調査會ヲ設置スルト云フコトヲ言明致シテ居リマス、其ノ後安定本部ガ實現シマシテ、長官モ決マリマシタガ、本會議デ言明サレタヤウニ、肥料國營ノ準備調査會ヲ設置スル爲ノ何等カノ措置ヲ講ジテ居ルカドウカト云フ點デアリマス、ソレカラ農林大臣ハ屢々肥料ノ國家管理ト云フコトヲ言ハレマスガ、肥料ガ現在相當程度ノ國家管理ニナツテ居ルノニ比ベマシテ、農林大臣ノ言ハレル國家管理ト云フモノハ如何ヤウナモノデアルカト云フ點ニ付テモ、御伺ヒ致シマス、ソレカラ肥料ノ國營案ヲ總ツテ、商工省ト農林省間ニ意見ノ

相違ガアリ、對立シテ居ルカノ如ク考ヘラレマスルガ、此ノ點ニ關シマシテ當局ノ所見ヲ御伺ヒシタイと思ヒマス、以上六點ニ付テ御伺ヒ致シマス

○補見政府委員 先ヅ第一點ノ肥料國營ノ問題デアリマスガ、是ハ既ニ度々申上ゲテ居リマスルヤウニ、經濟安定本部ニ肥料國營準備調査會ト云フモノヲ設ケテ、其ノ委員會ニ於テ國營ニ付テ、當否ヲ論議シ、サウシテ結論トシテ、假ニ國營ニ付テ云フコトニナリマスレバ、爾後ノ色々國營ニ關スル問題ニナル施設ヲ進メテ行クコトニナルノデアリマスガ、先ヅ其ノ前提トシテ、國營ノ當否ノ問題、又適否ノ問題ニ付テ、委員會ニ於テ調査ヲシテ戴カク、斯ウ云フコトデ、此ノ經過ハ田中サシモ御承知ノ通りデアリマス、ソコデ經濟安定本部ガ實ハ御話ニナリマシタ如ク最近出來マシタガ、部長ハヤツト最近——一部ノ部長ガマダ作ツテ居リマセマスガ、大體部長モ作ルト云フヤウナコトニナツテ居リマス、何ト申シマスカ、閑居勿々ト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シマシテ、私共ノ方デハ豫テ議會ニ於キマシテ色々申上ゲタル經過等モ附加ヘテ、此ノ肥料國營準備會ノ設置方ヲ要請シテ居ルヤウナ次第デアリマス、經濟安定本部デモ、此ノ問題ニ付テハ取上ゲテ戴ケルモノト存ジテ居リマス

ソレカラ第二番目ノ農林中央金庫ノ肥料ニ對スル資金融通ハ國營ノ準備カドウカト云フ問題デアリマスガ、是ハ國營ニ關シマシテハ、只今申上ゲマスヤウニ今後ノ經濟ヲ進デ參ル譯デアリマシテ、今日只今ノ所、國營ガ是非カト云フヤウナ所ノ結論マデ達シテ居

ラナイヤウナ次第アリマシテ、隨テ現在私共が考ヘテ居リマス資金融通ハ、國營ノ準備トカ、前提トカ、サウ云フコトハ全然考ヘテ居リマセヌ、純然タル農林中央金庫ノ準備金ノ運用トシテ、農村ニ極メテ密接ナ關係ノアル、此ノ肥料工業ノ復興ニ豫備金ヲ運用シテ參リタイト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、隨テ第三點ハ、國營ニ致シマシタ場合ノ賠償資金ガドウナルカト云フ點ニ付テハ、只今ノ所御答ヘ申上ゲ兼ネルヤウナ次第デゴザイマス

次ニ肥料ノ國家管理ノ問題ニ關聯シテ、現在トドウ違フカト云フ問題デアリマスガ、御述ベニナリマシタヤウニ、現在農林ノ國家管理ヲ致シテ居ル部分ガアルノデアリマスガ、是ハ肥料ノ配給部門、販賣部門ニ付テハ、總テ肥料會社ノ生産致シマシタモノハ、日本肥料株式會社ニ一括販賣セシメマシテ、之ヲ農業者ノ系統ニ依ツテ流シテ居ルノデアリマシテ、此ノ部分ニ於キマシテハ國家管理ト申シマスガ、或ハ見方ニ依ツテハ買取專賣ニ類スルヤウナモノデアリマスガ、併シ生産部門ニ於キマシテハ、尙ホ統制ヲ強化スルト申シマスガ、生産増強ヲ致シマス觀點カラ、相當之ニ強力ナ推進ヲ加ヘテ行カナケレバナラヌ部門ガ多イノデアリマス、事態ハ違ヒマスケレドモ、戰爭中ニハ軍需會社法ト云フヤウナモノデ、相當強力ニ此ノ生産確保ノ措置ガ講ゼラレ、又推進セラレタノデアリマスガ、今日ノ事態ニ於キマシテハ、現在ハ生産部門ニ對スル強力ナ推進ノ手段ト云フモノガ法的ニハ缺ケテ居ルノデアリマス、隨テ肥料ノ生産ヲ増強スル、又配給ノ適正、圓滑ヲ期スルト云

フ觀點カラ申シマシスト、後者ノ配給ノ方ハ大體現在デヤツテ行ケルガ、生産部門ニ付テハ尙ホソレニ對シテ強イ施策ヲ講ズル必要ガアラウト云フコトカラ、此ノ問題ヲ取上ゲテ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

最後ニ、國營問題ニ付テノ農林、商工、兩省ノ對立ガアルカト云フ問題デアリマス、此ノ問題ハ國營自體ニ付テ先程申上ゲマスヤウナ關係デ、又今後ノ經過デ以テ進シテ參リタイ農林、商工兩省ノ對立ト云フコトハナイト御承知願ヒタイト存ズルデアリマス

○田中(健)委員 次ニ昭和二十一年米穀年度ノ米穀需給計畫ニ付テデアリマスガ、本年度ノ米穀ノ收穫豫想ハ、私ハ諸報ノ情報カラ綜合シテ判定致シテ見マスルニ、五千八百萬石ト六千二百萬石ノ間ニ此ノ總收穫高ハ見ラレルノデヤナイカト云フヤウニ考ヘテ居リマスガ、政府ハドノ位ノ收穫高ヲ見込シテ居ルカト云フコトニ付テ御伺ヒ御シマス、此ノ見込高ガ基礎トナリマシテ、昭和二十一年米穀年度ニ於ケル需給計畫ガ樹立サレル、此ノ見込高ニ立ツタ所ノ需給計畫ヲ推算ニ付テ、出來得ルナラバ數字ノ二詳シク御伺ヒシタイト思ヒマスガ、數字ノ御準備ガ整ツテ居ラナイトスレバ、後デ文書デモ宜シウゴザイマスカラ、御答ヘ願ヒマス

○棉見政府委員 本年産米ノ收穫豫想デアリマスガ、實ハ全國のニ作況調査ヲ致シテ居ルノデゴザイマスガ、其ノ結果ガマダ纏ツテ居リマセヌノデ、其ノ正確ナコトハ申上ゲラレナイノデアリマス、併シ各地ノ現在マデ得テ居リマス情報ニ依リマシテモ、本年ハ相

當良作ガ期待サレルト思フノデアリマス、今五千八百萬石カラ六千二百、三百萬石ノ間ノ豫想ト見ルガ、ドウカト云フヤウナコトデゴザイマシタ、私共トシマシテハ、正確ニ今ドレ位ノ數字ガ豫想サレルカト云フコトハ申サレマセヌガ、併シ從來私共考ヘテ居リマスヨリハ、相當好轉ヲシテ居ルコトハ事實ノヤウデアリマス、大體ソレニ近イヤウナ數字ヲ得ラレルコトヲ私共トシテハ期待シテ居リマス、併シ正確ニ政府トシテ今ドレデケカト云フコトハ申上ゲルマデニ至ツテ居ラナイノデアリマス、出來ルデケ早ク全國のノ數字ヲ取總メタイト云フコトデ、現在地方ニモ督促ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

ソレカラ明年ノ需給ノ問題デアリマスガ、此ノ生産高ガ基礎ニナリマシテ需給ノ見込ヲ立テテ居ラナイマス、勿論一部ニハ、來年ノ麥ナリ諸ノ收穫見込、是ハ本當ノ計畫的ナ推定ニナル譯デアリマスガ、サウ云フモノモ頭ニ入レテ需給計畫ト云フモノヲ立テナケレバナラヌ譯デアリマスガ、根本ノ本年ノ生産見込ト云フモノヲハツキリ握ムマデニハ實ハ至ツテ居リマセヌコトト、モウツツ大キナ問題ハ、是ハ豫テ農林大臣カラ御話申上ゲマシタヤウニ、明年度ニ於キマシテハ、消費者ノ配給基準ニ付キマシテ増配ヲ考慮致シテ居ルノデアリマスガ、是非ハ配給基準ヲ增加致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ問題ニ付キマシテモ、豫ニ農林大臣カラ申上ゲマシタヤウニ、關係方面トノ色々ノ重大ナ關係ガゴザイマスノデ、是等ハツキリ致シマセヌケレバ、明年ノ需給計畫ト云フモノヲ立テテ居ルニハ實ハ參ラナイノデアリマス、色々準備のノロトハ致シテ居リマスガ、併シ是ガ本極リニナルマデニハ至ツテ居ナイ現在ノ狀況デアリマスノデ、此ノ點ハ左様ニ御諒承ヲ御願ヒ致シタイト思フノデアリマス

○田中(健)委員 次ニ世界ノ食糧事情ニ付テ御尋ネ致シマス、日本ノ國內ノ食糧事情ヲ改善スルニハ、世界ノ食糧事情ト觀ミ合ハセテ考ヘナケレバナラヌコトデハナカラウカト思ヒマスルガ、是モ色々ナ情報ニ依リマスルト、本年ハ世界各地トモ非常ナ豐作デアルト聞イテ居リマスルガ、米國、「カナダ」、「佛印」、「シヤム」、「ビルマ」、朝鮮、臺灣、是等ノ世界各地ニ於ケル主

要農産物ノ作況ニ付テ、何カ政府ト致シマシテ情報ガアレバ、此ノ情報ニ付テ世界ノ食糧事情ニ關スル御答辯ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、又各國民ノ食生活ニ付テモ、出來得ルナラバ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、是モ數字デ御伺ヒシタイノデアリマスガ、數字ノ御準備ガナケレバ、後デ書イタモノデモ宜シウゴザイマス、次ニ遠洋漁業ノ問題デアリマスガ、遠洋漁業ハ一時的ニ許可サレテ居ルモノデアツテ、恆久的ノモノデハナイ、斯ウ云フコトヲ私先般新聞デ承知致シテ居リマスガ、是ハ一時的デアル場合ニハ、ドウ致シマシテモ資本ノ投入、施設ノ充實等ニ付テ、業者ガ本腰ヲ入レナイノデアリカト考ヘラレマスノデ、政府ニ於テ、一時的ニ許可サレテ居ルモノヲ、出來ルナラバ恆久性ヲ持タセル方法ヲ執ルベギデナイト考ヘマスルガ、當局ノ所見ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、此ノ二點デアリマス

○棉見政府委員 世界ノ食糧事情デアリマスガ、御述ベニナリマシタヤウニ、全體のニ好轉ヲ致シテ居ルヤウデアリマス、唯御尋ネニナリマシタ地域ノ中デ、朝鮮、臺灣ハ必ズシモ左様デゴザイマセヌ、特ニ朝鮮ハ、私共得テ居リマス情報デハ、非常ナ水害デ、現ニ朝鮮ニ歸ル人々モ交通ガ回復ヲシマセヌ爲ニ、九州ニマダ止ツテ居ルヤウナ狀態デ、彼此レ二月近クモ待機ヲシテ居リマスガ、サウ云フヤウナコトデ、朝鮮ハ非常ニ水害ガヒドイヤウデアリマス、又臺灣モ是ハ戰爭中カラノ作付轉換ナリ、色々ノ問題ガゴザイマシテ良クナイヤウデアリマスガ、其ノ他ノ地域ニ於キマシテハ大體良イヤウデアリマス、特ニ「アメリカ」、「カナダ」ニ於キマシテハ、昨年から今年ニ掛ケマシテ、相當無理ヲシテ世界ニ食糧ヲ供給致シマシタ爲ニ、例年ノ繰越高ハ相當今年ハ減少ヲシテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ減少ヲ「カバ」シテモ餘リアルデケノ製作ガ傳ヘラレテ居ルヤウデアリマス、是モ正式ニ報告ヲ私共國

シテ居ル譯デアリマセヌガ、情報ニ依リマスルト、「アメリカ」デハ是モ或ハ田中サンモ御承知カト思ヒマスガ、昨年ハ小麥ハ「アメリカ」デハ未ダ曾ツテナイ製作デアリタノデアリマスガ、本年ハ更ニソレヨリモ上廻ル第一次、第二次ノ收穫豫想ガアル毎ニ、其ノ數量ガ殖エテ行クト云フヤウナ狀況デゴザイマシテ、昨年度ノ今マデノ最高「レコード」ヲ更ニ來年ハ破ル「レコード」ナ情勢デアリマスケレドモ、當時七月十五日ノ豫想ニ依リマスルト、三千四百三十萬トンノ餘リノ收穫豫想ニ我々承知シテ居ルノデアリマス、ソレカラ玉蜀黍デアリマスガ、玉蜀黍ハ一昨年「アメリカ」デハ從來ノ最高「レコード」デゴザイマシタ、所ガ之ヲ更ニ本

第六類第六號 食糧緊急措置令(承諾を求める件)委員會議錄 第十二回 昭和二十一年八月二十六日

年ハ上週ルヤウナ状況、同様ニ七月十五日現在ノ收穫推定ハ一億五百六十九萬六千「トン」、約一億六百萬「トン」ト云フヤウナ數字デアリマス、其ノ後此ノ數字ハ更ニ殖エテ居ルヤウナコトデアリマス、全體的ニハ非常ニ世界ノニモ恢復シテ居ル、「ヨーロッパ」ナリモ漸次此ノ戰爭後ノ平靜ヲ取戻サレテ、總生産量增加シテ居ルコト云フ風ニ承知致シテ居リマス、唯南方ノ佛印ナリ、「タイ」、「ビルマ」ト云フ方面ガ、ドノ程度復舊シテ居ルカリマセヌガ、私共ガ期待シテ居ル程度カニ、マダ復舊ハシテ居ラヌト云フコトダケハ確カノヤウデアリマスガ、併シ是モ漸次復舊ノ途ヲ辿ツテ居ルモノト承知致シマス、大體數字ノ中上デラレマシムハ、只今私ノ承知シテ居ル所ハ以上ノ通りデアリマス

ソレカラ遠洋漁業ノ問題ニ付テ、一時的ノ許可ト云フコトニ付テノ問題デゴザイマスガ、此ノ問題ハ先般G.H.Q.ノ海外局カラ發表サレタ捕鯨ニ付テ、世界ノ他ノ諸國ノ抗議ニ對スル辯明ト申シマスガ、聲明ト申シマスガ、其ノ中ニアツタコトヲ指シテ御尋ネノヤウデアリマスガ、私共モ、此ノ問題ニ付テハ一時的ノ許可ト云フコトニナツテ居リマスガ、併シ今後ノ色々ノ觀察カラ考ヘテ參リマシテモ、是非ハ極久のナ漁業トシテ許可ヲ得タイト云フ風ニ考ヘマスノデ、其ノ期限ガ過ぎマスレバ、更ニ引續イテ申請ヲ致シタイト考ヘテ居リマスガ、今日ノ所色々、御承知ノヤウナ微妙ナ國際情勢ノ下ニゴザイマスノデ、今後ノ問題トシテ、此ノ問題ノ扱ツテ參リタイ、斯ウ云フ風ニ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス

ガ、此ノ間ノ色々「デリケート」ナ事情モ御承知ノコトと思ヒマスカラ、是レ以上申上ゲマセヌガ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ御願ヒシタイノデアリマス

○田中(健)委員 次ニ貿易ノ再開ト外米ノ輸入、ソレカラ増配ノ問題ニ付テ御伺ヒ致シマスガ、先般ノ豫算總會ニ於キマシテ、吉田總理大臣ガ講和會議ガ近キ將來、即チ明年ノ七、八月頃以前開カレルノデヤナイカト云フヤウナコトヲ、辯明サレタヤウニ、記憶致シマスガ、サウダトスレバ、明春頃マデニ貿易ガ再開サレルモノト推察シテモ宜シイカト云フ問題ガ一ツ、ソレカラ現在「アメリカ」ヨリ食糧ガ來テ居リマスノデ、此ノ食糧ニ依ツテ日本ノ國民ガ大部分ハレテ居リマスノデ、之ニ對シテ我々ハ、日本國民ト致シマシテ、非常ニ感謝致シテ居リマスガ、此ノ食糧ハ輸入品デアルカ、ソレトモ「アメリカ」軍ガ「アメリカ」國內ヨリ買上ゲテ、日本ニ送ツテ居ルノデアルカト云フ點ニ付テ、一寸御伺ヒシテ置キタイと思ヒマス、ソレカラ外米ノ輸入ノ爲ニハ、日本カラドノヤウナ品物ガ輸出サレナケレバナナイカ、サウシテ其ノヤウナ品物ヲ作ル工業施設ガ完備シテ居ルカドウカト云フ問題ニ付テ、御伺ヒ致シマス、其ノ際ガ明確ニナラナイト、結局、輸入ノ見返リトシテ是々送ルト云ツテモ、其ノ送ル爲ノ工業施設ト云フモノガ確立サレナケレバ確實性ハナイ、私ノ考ヘデハ、貿易ガ再開サレ、バ南方米或ハ其ノ他カラ米穀ガ輸入サレルト思ヒマスガ、假ニ本年度六千萬石ト見シテモ、尙ホ二千萬石——是ハ私ノ推定デスカラ、或ハ數字ガ著シク違フカモ知レマセヌガ、二千萬石位不足デヤナイカ、隨テ外米ヲ輸入スルコトハ必然デアル、ソコデ政府

ガ昭和二十一年度ノ米穀需給計算推定ニ、輸入米ヲドレダケ見込シテ居ルカト云フコトニ付テ承ツテ置キマス、此ノ點ガ明確ニナラナイト、農林大臣ノ近キ將來ノ増配ト云フ言明ガ空念佛ニ終ツテシマフ、農林大臣ハ貴族院ニ於テ、十一月一日ヨリ増配シタイト云フコトヲ言明シタヤウニ私記憶致シテ居リマスガ、十一月一日カラ増配スルト云フコトニナルト、最早現在ニ於テ輸入米、或ハ來年度ニ於ケル產米ノ見込シ、其ノ他ニ付テ色々ナ數字計算ノ下ニ、需給計算ノ推算ガ立ツテ居ルノデアルガ、其ノ計算ガ立ツテ居ルノデ

アルガ、其ノ計算ガ立ツテ居ルノデ十一月一日ヨリ増配スルコトハ不可能ダト思ヒマス、ソレデ結局一人當リドレ位増配スルカト云フ問題ニ付テモ、此ノ際御伺ヒ致シテ置キタイと思ヒマス、結局増配スルト云フコトト、數字ガハツキリシテ來ルコトニナルト、ソレガ現在ノ關米價或ハ程度引下ゲルコトニ役立ツデヤナイカ、今マデノ言明ハ極メテ抽象的デアリ、根據ガ薄弱デアルヤウニ考ヘラレマスノデ、出來ルナラバ、十一月一日ニ農相ガ言明スル通り増配ガ斷行サレルモノカ、而シテ一人當リドレ位ノ増配ノ可能性ヲ持つカ、其ノ基礎ハ輸入米或ハ本年度產米、或ハ來年度ノ產米、斯ウ云ツタヤウナコトニ付テ詳細承ルコトガ出來レバ幸ヒデアリマス

アリマスガ、現在ノ輸入シテ居リマス食糧ガ、貿易品トシテ來テ居ルカドウカト云フ點ニ付テハ、是ハ貿易品トシテハ參ツテ居ラナイノデアリマシテ、「アメリカ」ノ陸軍省ガ陸軍ノ豫算外國內カラ買ヒマシテ、之ヲ日本ニ持ツテ來ル、斯ウ云フ狀態デアリマス、貿易品トシテハ入ッテ來テ居ラナイノデアリマス、唯之ニ付テノ見返リノ物資ノ施設ガ完備シテ居ルカドウカト云フ御尋ネニ對シマシテハ、是ハ現在ニ於テモ、或ハ將來ノ貿易再開ヲ致シマシタ場合ノ見返リ物資トシテモ、最も大キナモノハ申上ゲルマデモナク生糸ト紡績關係デアリマスガ、幸ヒ是等ノ施設ニ付テハ、尙ホ不十分ナ點モアリマスガ、漸次計畫ハ軌道ニ載ツテ居ルト思ヒマスシ、特ニ紡績ノ施設ノ方ハ、十分現在ノ所デ間ニ合ツテ居ルヤウニ承知シテ居リマス、生糸ノ方モ折角製絲設備ノ復舊ニ努力ヲシテ著々進ンデ居ルヤウニ承知ラシテ居リマス

次ニ來年ノ輸入食糧ヲドレダケ見込シテ居ルカト云フ點デゴザイマスガ、是ハ先程來申シマシタヤウニ、此ノ基礎ニ依ツテ漸次來ルノデアリマスガ、同時ニ此ノ問題ハ、聯合國側ニ於キマスル輸出能力ト云フヤウナ問題モ關聯ヲ致シテ居ルノデアリマス、隨テ關係方面ト今折角緊密ナ連絡ヲ執リ、且ツ關係方面モ本國ト緊密ナ連絡ヲ執ツテ居ルノデアリマスガ、今日ノ所マダハツキリシタコトヲ申上ゲル時期ニ至ツテ居ラナイノヲ甚ダ遺憾トスルノデアリマスガ、此ノ點ハ非常ニ「デリケート」ナ問題ガ生ジマスルノデ、是レ以上實ハ御答ヘ申上ゲルコトヲ遺憾致シタイノデアリマス、最後ノ増配時期ノ問題及ビ數量問題デアリマ

ス、數量ノ問題ハ只今申上ゲマシタヤウニ、ハツキリ申上ゲルマデニ參リマセヌガ、唯申上ゲラレルコトハ、私共トシテハ出來ルダケ此ノ數拉ハ多クシタイ、國內ノニモ許ス限度ニ於テ、又國際的ノ關係ニ於テナシ得ル最高限度ニ於テ、此ノ問題ハ出來得ル限り多ク數量ヲ增加シタイ、斯ウ云フコトデ折角努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、遂カラズ此ノ問題ハ固マルト思ヒマスガ、今日ノ所遺憾ナガラマダ固マツテ居リマセヌノデ、ハツキリシタコトヲ申上ゲルマデニ行カナイノデアリマス、時期ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ新米ガ、出廻リ出シマシタ當初カラ、所謂大臣ガ食糧年度ト申シマシタノハサウ云フ意味デアリマスガ、新米ガ出廻リ出シマシテカラ、出來ルダケ早ク之ヲ實施致シタイ、斯ウ云フコトデアリマスガ、是モ量ノ問題、全體的ノ問題ト關聯ヲ致シテ居リマスガ、出來ルダケ早ク此ノ問題ハ解決致シタイト考ヘマシテ、折角事務的ニモ又國際的ニモ努力ヲ致シテ居ルヤウナ實情デアリマス

○田中(健)委員 次ニ米價ノ問題ニ付テ御伺ヒ致シマス、新米價、詰リ米價ヲ値上スルト云フヤウナコトガ當局ヨリ屢々言明サレテ居リマスガ、其ノ新米價ノ點ニ付テ、是ハ從來ノ如ク多樣多岐ニ瓦ルモノデアルカ、生産買上價格、或ハ其ノ販賣價格、其ノ他報奨トカ色々ナモノガ從來アツタデスガ、其ノ米價ノ全貌ニ付テ御伺ヒ致シマス、本年度ノ豫想收穫高ハ、私ノ推定デスガ、六千萬石ト致シマシテ、外米輸入二千萬石、假ニソレヲ以テ昭和二十一年米穀年度ノ需給計算ガ立テラレタ場合ニ、米價ニ變動ガアルカドウカト

云フ問題デス、サウ云フ觀點ニ立ツ
チ、新米價ト云フモノガ維持出來ルカ
ドウカ、詰リ米價ノ變動ニ對スル方策
如何、斯ウ云フ點デアリマス、現在ノ
米ノ價值ハ食糧不足ニ基因スル、色々
ノ問題モアルト思ヒマスガ、主トシ
テ、食糧不足ニ基因スルノデヤナイカ、
サウ云ツタ場合ニ、食糧ノ相當程度
充實サレテ來ルト云フコトニナルト、
必然的ニ米價ト云フモノハ變動ヲ見
ル、現ニ關米價ト云フモノハ下リツ、
アル傾向ニアルノデアリマス、是ガ段
段下ツテ公定米價ヲ割ル所マデ來ル
カ、來ナイカ、其ノ點ニ付テ、新米價
ト云フモノハ、斯カル見透シノ下ニ維
持出來ルカ、出來ナイカ、斯ウ云フ問
題デアリマス

ソレカラ米價ノ變動ニ依リ、自作農
創設資金ノ償還ガ不能ニナルヤウナ場
合ガナキニシモアラズ、大正八、九年
間ニ非常ニ高値段デ自作農創設ヲヤ
ツテ、ソレガ大正末カラ昭和六、七年
ニ掛ケテ、非常ニ農民ガ困ツタ過去ノ
例モアリマスノデ、米價ノ變動ニ依ツ
テ償還ガ不可能ニナツタ場合ニ如何ナ
ル方法ニ依ルカ、勿論是ハ農調法案ノ
場合ニ御尋ネズベキコトデアラウト思
ヒマスガ、一應此ノ際伺ツテ置キタイ
ト思ヒマス

○補見政府委員 米價ノ問題ニ付キマ
シテハ、他ノ物價トノ均衡ヲ考慮シテ
ヤルト云フコトモ一ツノ理由デアリマ
スガ、同時ニ大キナ問題ハ、米ノ生産
費ヲ償フコトモ大キナ内容ニナ
ツテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ點カ
ラ米價問題ヲ私共ハ取扱ヒ、隨テ又作
申上ゲテ居リマスヤウニ、此ノ問題ハ
經濟安定本部デ現在取上ゲテ、速急ニ
決メルヤウナ段取りデ今進メテ居ルノデ

アリマス、是ハ極ク最近ニ決定ヲ見
ト思ヒマスガ、私共トシマシテハ、此
ノ觀點カラ米價問題ヲ考ヘマス同時
ニ、此ノ米價ノ只今御尋ネニナリマシ
タ態樣ト申シマスカ、態樣ノ問題ニ付
キマシテハ、本來ノ米價ヲ改訂致シマ
スト同時ニ、本食糧年度ニ於キマスル
特別ノ一端端期ニ於キマスル食糧事
情ノ觀點カラ、此ノ窮迫シタ端端期ノ
食糧事情ニナツテ居リマス爲ニ執ラナ
ケレバナラヌト致シマシテ、早場米ノ
確保獎勵ト申シマスカ、此ノ獎勵的ナ
コトヲヤルト云フコトモ考ヘテ居ルノ
デアリマス

次ニ米價ノ變動ノ問題デアリマス
ガ、只今申上ゲマシタヤウナ觀點カラ
米價ヲ決メテ參ル譯デアリマスカラ、
是カラノ輸入食糧、或ハ今年ノ實收ガ
確定シタト云フヤウナ場合ニ於キマシ
テモ、此ノ決メマシタ米價ニ付キマシ
テハ、變動ヲサセナイ、斯ウ云フ考ヘデ
アリマス

次ニ自作農創設費用トノ關係デアリ
マスガ、是ハ寧ろ將來ノ農產物價ノ問
題トノ關係ノ下ニ於ケル御尋ネノヤウ
ニ承知致シマシタガ、此ノ問題ニ付キ
マシテハ、既ニ御承知ノヤウニ、自作
農創設ニ關シマスル今同ノ法律案ニ於
キマシテモ、特別ニ償還金ノ問題ニ付
テハ考慮ヲ致シテ居リマスシ、一定ノ合
理的ナ基準ノ下ニ、價格ノ變動ガアリ
マシテ、端のニ申セバ、下ツタ場合ノ
措置ニ付キマシテハ、法文中ニ其ノ
コトヲ書イテアリマスシ、又特別ノ災
害等ニ依リマシテ減收ガアツタ場合ノ
措置モ、ヤハリ其ノ法文中ニハツキ
リ書キマシテ、自作農創設事業ニ大キ
ナ陸路ヲ來サナイヤウニ、特ニ考慮ヲ
致シテ居ルノデアリマス

○田中(健)委員 時間ガアリマセヌカ
ラ、四點一括シテ簡單ニ伺ヒマス、農
地制度改革、農地證券、ソレカラ戰爭
用地ノ返還問題、其ノ他一點デス、自
作農創設事業ニ付テハ、私ノ考ヘデ
ハ、是ハ純然タル國營ニスベキモノデ
アツテ、都道府縣、市町村ニ從來ハ其
ノ事業ヲヤラシメ居ツタノデアリマス
ガ、今度ノ場合ニハ、中央地方ニ國
農地行政官廳、又ハ事業官廳ヲ設置シ
テ、唯一番ノ最下部ノ市町村ニハ、自
主的ナ市町村ノ農地組合ヲ作ラセルヤ
ウニシタラ宜イト思フガ、此ノ點ニ對
スル當局ノ所見ヲ御伺ヒマス、ソレ
カラ農地制度改革ノコトニ付テ、地主
ニ對シテ農地證券ヲ交付スルト云フコ
トヲ聞イテ居リマスガ、農地證券ヲ
持ツ地主ハ金融ヲ受ケルコトガ出來ル
カ、農地證券ニハドレダケノ利子ガ附
セラレルカ、農地證券ニハ償還期限ト
云ツタヤウナモノガアルカドウカ、其
ノ他農地證券ノ特別ナ點ニ付テ御伺
致シタイノデアリマス、ソレカラ大東
亞戰爭中ニ、戰爭ノ理由ヲ以テ耕作者
カラ耕地ヲ買上ゲ、又ハ借上ゲタ土地
ハ、戰爭終結ノ今日ニ於テハ、其ノ理
由ガ消滅シテ居ルカラ、他ノ理由ニ依
ツテ之ヲ元ノ耕作者ニ返サナイト云フ
コトハ不當デアラウト思ヒマスガ、何カ
特別ノ措置ヲ講ジテ返還サセル御意思
アリヤ否ヤ、ソレカラ終戰後俄カ作リノ耕
作者ガ殖エテ又地主ガ土地ヲ小作人
ヨリ取上ゲテ耕作シテ居ルモノモア
リ、其ノ大部分ハ信念ヲ以テ農業ヲ始
メタノデハナクシテ、一時的ニ食糧難ヲ
解決スル爲ニヤツテ居ルノデ、食糧事
情ガ平常化スレバ、是等ノモノハ耕作
地ヲ抛棄スル危險性ガアルノデアリマ
ス、其ノ故ニ自作農創設ハ本當ノ農民

ニ對シテナサシムベキモノデアルト思
ヒマスガ、終戰後俄カ耕作作者、食糧
ガ平常化スレバ土地ヲ抛棄スル危險性
アルモノマデモ、何等審議スルコトナ
クシテ耕作サセルカドウカ、ソレカラ
昭和十六年以降、不當ニ取上ゲラレタ土
地ヲ小作人ニ返還セシメタ上ニ、自作
農ヲ創設サセナケレバナラヌト思ヒマ
スガ、此ノ點ニ付キマシテノ當局ノ御
考ヘヲ御伺ヒ致シマス

○補見政府委員 今御述ベニナリマシ
タ點ハ、何レ農地ニ關シマスル委員會
ニ於テ、詳細論議セラレルト存ジ
マスノデ、極ク簡單ニ私カラ御答ヘ申
上ゲテ置キマス、第一點ノ國營ノ問題
デアリマスガ、勿論今回ノ此ノ農地改
革ハ國ノ手ニ依ツテ耕地ヲ買收シ、之
ヲ開放シテ參ル譯デアリマスカラ、買
上事務トカ色々ナ問題ハ、國ノ意思ニ
基イテ國ノ機關トシテヤルコトニナリ
マス、隨テ是等ノ機構ノ問題ニ付キマ
シテモ、同時ニ農地制度ノ趣同ト合ハ
セテ、現在豫算のニモ色々檢討致シテ
居ルノデアリマス、要シマスルニ國ノ
事業トシテ、國ノ機關トシテ之ヲヤツ
テ參ルト云フコトニナル譯デアリマ
ス、證券ノ問題ハ、年賦デ返シテ行ク
ト云フコトニナルノデアリマスガ、ソレ
以外ノ色々詳細ナ點ハ、私共只今記憶致
シテ居リマセヌノデ、何レ別ノ農地委
員會デ御答ヘ申上ゲルコトニ致シマ
ス、ソレカラ用地ノ問題、是ハ特ニ飛
行場問題等ニ此ノ問題ガ多カツタノデ
アリマスガ、形式上ハ補償ヲシマシ
テ、謂ハバ實質ニ依ツテ國ガ取得シタ
ノデアリマスケレドモ、併シ實質上色
色問題モゴザイマスルシ、特ニ飛行場
等ニ付キマシテハ、從來ノ耕地ガ半強
制的ニ飛行場ニ供セラレタト云フヤウ

ナ場合モ少クナイノデアリマスカラ、
特ニ之ヲ開放致シマシテ、更ニ耕地ト
致シマスル場合ニハ、出來ルダケサウ
云フヤウナ趣旨モ頭ニ入レマシテ、地
元ノ耕作作者ニ渡シテ行ク、斯ウ云フ方
法デ現在進シテ居ルヤウナ事情デアリ
マス、最後ニ俄カ作リノ農家ニ對スル
問題、又土地ノ引上ノ問題デアリマス
ガ、此ノ問題モ既ニ御承知ノヤウニ、
昨年十一月二十三日現在ヲ以テマシ
テ、土地ノ所有狀況ト云フモノヲ基礎
ニ致シマシテ、今回ノ農地開放ガ行ハ
レル譯デアリマスカラ、隨テ其ノ時ヲ
境ニ致シマシテ、農地委員會ニ於テ色
色檢討セラレルトコトニナル譯デアリ
マスガ、同時ニ國ガ今回買收シテ、自
作農ヲ創設シテ參ル場合ニ於キマシテ
モ、只今御述ベニナリマシタヤウニ、
自作農トシテはカ皆カヤツテ行ケルカ
ドウカト云フコトガ、今後ノ自作農ヲ
維持シテ參リマス上ニ於テ極メテ重要
デアリマスノデ、此ノ點モ自作農トシ
テ農地經營ニ徹シ得ルト云フ見透
シノ付イタ人々ニ、之ヲ開放シテ行カ
ウ、斯ウ云フ方向ニ進シテ居ルコト
ヲ、附加ヘテ申上ゲテ置キタイト思
フノデアリマス

○田中(健)委員 私人質問ハ是デ終リ
マス

○馬越委員長代理 平野市太郎君
○平野(市)委員 私今回初メテ出テ參
リマシテ、政府ノ説明ヲ承リ、各議案
ヲ見マシテモ立派ニ出來テ居リマス
ガ、私ハ純然民ノ立場カラ見マス時
ニ、餘リニモ政府ノ首腦部ノ方ガ農村
ノ實情ニ暗イト云フ點ヲ、私殘念ニ思
フノデアリマス、自由經濟當時、又戰
爭中ヨリ現在ニ至ルマデ、我々農民ノ
零細ナル金ヲ集メテ、其ノ金ハ殆ど都

會文化ニ使ツテ居ルノデアリマス、農村文化ヲ閉却シマシテ、都會文化ニ重キヲ置イタル爲ニ、現在ノ食糧難ノ原因モソコニアルト私ハ思フデアリマス、此ノ中央金庫ノ貸付ノ問題ニ致シマシテモ、組合員外ニ貸付ケテ居ル、其ノ中テ私達ガ最も遺憾ニ思ヒマスノハ、日本鑛工品配給株式會社デアリマス、是ハ私香川縣ニ於テ一ツノ例ヲ申上ゲマスガ、私達ハ農閑期ニ於テ以テ生産スル一百姓ニ過ギヌモノデアリマスガ、一枚ノ鹽ヲ生産致シマスナラバ、農家ノ手取金ハ一圓九十錢デアリマス、是ガ鑛工品ト云フトソノ例ヲ社ヲ一ツ通ツタナラバ、消費者ノ手ニ移ル時ハ二圓六十五錢ニナルデアリマス、斯様ナ押取會社ニ我々カラ集マツタ所ノ金ヲ貸付ケテ思ルト云フコトハ、私甚ダ遺憾ニ思フデアリマス、次ニハ地方食糧營團ニモ金ヲ貸付ケテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ食糧營團タルヤ、私農民ノ立場カラ、即時廢止シテ戴キタイト云フ意見ヲ持ツモノデアリマス、此ノ食糧難ニ行詰ツテ居リマス時ニ、食糧營團ニ我々ノ生産シタ所ノ米麥ヲ配給サスト云フコトガ、抑々誤ツテ居ルノデアリマス、又戰爭中ノ麥ノ二分搦キデアルトカ、米ノ玄米食デアルトカ、現在ハ二分搦キニ搦カシテ居リマスガ、是ガ抑々間違ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點ヲ改メナカツタナラバ、我ガ國ノ食糧問題ハ解決付カナイト思ヒマス、現在失業者ハ津山出テ來ル、或ハインフレト云フコトハ、國民ノ腹ガ、腹ハ合ニ膨レタナラバ、斯ウ云フ問題ハ一舉ニ解決付クノデス、ソレヲ國民ガ腹ハ合ニ膨レヌヤウナコトヲ政府自身ガヤツテ居ルヤウナ感ガスルノデアリマス、食

糧營團ノ例ヲ申シマスレバ、一番能ク分ルト思フデアリマス、麥モ精麥致シマスナラバ、麥糠ハ二斗五升乃至三斗出來ルデアリマス、米モ一俵十六貫精米致シマスナラバ、米糠ハ六升出來ルデアリマス、之ヲ家畜ニ食ハセテ、家畜ノ腹ヲ通シテ土ニ循環シテこそ、我ガ國ノ農業ハ循環農業トシテ増産出來ルデアリマス、ソレヲ食糧營團ト云フヤウナモノニ任ス爲ニ、現在ノ二分搦ガ、政府ノ示ス二分搦ニ搦イテ居ルヤ否ヤ、殆ド私ハ二分搦ニ搦イテ居ナイト思フデアリマス、此ノヤウナ食糧營團ト云フヤウナモノハ、即時廢止致シマシテ、農民組合ヲ主體トスル所ノ團體、或ハ地方ノ實行組合等ニ任シテ、我々ノ生産シタ所ノ農産物ハ全部加工シテ供出サセル、即チ自分ノ作ツタ米麥ハ、米デアリマシタナラバ精米シ、麥デアリマシタナラバ精麥シテ供出スルノデアリマス、サウ致シマスルナラバ飼料ハ殘ルノデアリマスカラ、其ノ飼料ニ依ツテ、有畜農業ヲ盛シニシテコソ増産ハ出來ルノデアリマス、現在食糧ニ行詰マツテ居ルノハ此ノ點ニアルトデアリマス、此ノ營團ニ金ヲ貸付ケルト云フ點ガ、我々ニハ分ラヌノデアリマスガ、將來モ斯ウ云フ風ニ食糧營團ニ金ヲ貸付ケル御趣旨デアリカ、此ノ點ヲ御尋ネ致シタイノデアリマス

尙私達ガ農業經營ヲヤル場合ニ牛ヲ飼フノデアリマスガ、日本ガ戰爭ニ敗ケマシタ時ニ、離宮フナツ、進駐軍ガヤツテ來ル、占領軍ガ日本ノ國ニ乘込デ來タナラバ、農家ノ鶏、或ハ牛ハ殺シサレテシマフト云フヤウナ聲ガ立ツタ爲ニ、農家ノ者ハ殆ド牛ヲ賣ツタノデアリマス、賣ツタ時ニハ僅カ六百圓、七百圓程度デアッタノデアリマスカ、二、三箇月シテ農家ノ者ガ牛ヲ買ハントスル時ニハ、一萬四千圓デアリマス、現金デ買フナラバ八千圓デアリマスガ、封鎖預金デアリナラバ一萬四千圓掛ル、政府ハ此ノ農家ノ者ガ直接牛ヲ買ハントスル時ニ、今ノ封鎖ヲ解キ、セメテ農民ガ牛ヲ買フ現金位ハ貸付ケル御意思アリヤ否ヤ、此ノ點ヲ御尋ネ致シタイノデアリマス

○補見政府委員 御答ヘ申上ゲマス、農林中央金庫カラ配給機關ニ對シテ金ヲ貸スコトハドウカト思フト云フヤウナ御趣旨ノ御質問ノ承知致シマシタ、私共ハ一面ニ於テ、農業會其ノ他生産者ガ、其ノ生産物ニ付テノ加工、其ノ他ニ付テ、色々改善ヲ加ヘテ參リマシタヤウニ、綜合金融トシテノ本來ノ筋デアリマスカラ、是ハ當然考慮シテ居ルノデアリマスガ、同時ニ餘裕金ノアル場合、一般ノ機關デハナクシテ、農林水産業ニ密接ナ關係ノアルモノニ付テ、餘裕金ヲ供給シタイト云フノガ趣旨デアリマス、隨テ其ノ前提デアリマスル機關ガ適當デアルカドウカト云フ問題ハ、是ハ此ノ中央金庫ノ金融ノ問題トハ別箇ノ觀察カラ實ハ檢討ヲ致シテ參リタイ、斯ウ云フコトデアルノデアリマスカラ、其ノ點ハドウカ別ノ問題トシテ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス、唯統制機關ニ付キマシテモ、今日ノ情勢ノ下ニ於テ存置スルコトガ適當デナイト云フヤウナモノニ付キマシテハ、漸次此ノ統制機關ハ改廢ヲシテ參ル積リデアリマスガ、只今ノ所食糧營團ニ付テハ、廢止スルトカ、改變スルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌ

次ニ飼料ノ問題デアリマスガ、是ハ實ハ唯目前ノ非常ニ急迫シタ食糧事情ノ爲ニ、飼料モ人間ノ食糧ニ廻ハスト云フヤウナコトヲヤクサツデアリマスカ、是ハ本當ニ緊急事態ニ於ケル處置デアリマシテ、斯ウ云フコトハ農業ヲ漸次太ラセ、改善シテ參ルト云フ觀點カラ申シマスレバ、最も悪い施策デアリマスガ、只今申上ゲマスヤウニ、目前ノ飢餓ヲ何トシテモ救ハナケレバナラヌト云フコトデ、今日ノヤウナ事態ニナツタノデアリマス、此ノ問題ハ私共ト致シマシテハ、畜産ノ基礎デアリマス、又畜産ハ農業ノ基礎デアリマスノデ、一日モ早ク斯ウ云フ事態カラ脱却シタイト云フコトデ、其ノ方向ニ只今方向轉換シツ、アルノデアリマス

家畜ノ購入資金ノ問題ニ付キマシテハ、私共ト致シマシテハ、勿論サウ云フヤウナ資金ノ需要ニ對シマシテハ、融通ノ途ヲ開クコトハ當然ノコトト考ヘテ居リマスシ、具體的ナ事例ニ即シマシテ十分考慮ラシテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○馬越委員長代理 平野君ノ御質問ハ明日御繼續演フコトニ致シマシテ、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午後零時三十七分散會

昭和二十一年九月十八日印刷

昭和二十一年九月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局